

2 0 2 1 年 3 月 2 4 日
東京電力ホールディングス株式会社
福 島 復 興 本 社

福島復興本社における
賠償・除染・復興推進等に関する取り組み状況
～福島復興への責任を果たすために～

○ 原子力損害賠償の進捗状況	_____	1	～	2
○ 福島復興へ向けた取り組み	_____	3	～	7

原子力損害賠償の進捗状況について

＜原子力損害賠償のご請求・お支払い等実績＞

2021年2月26日現在

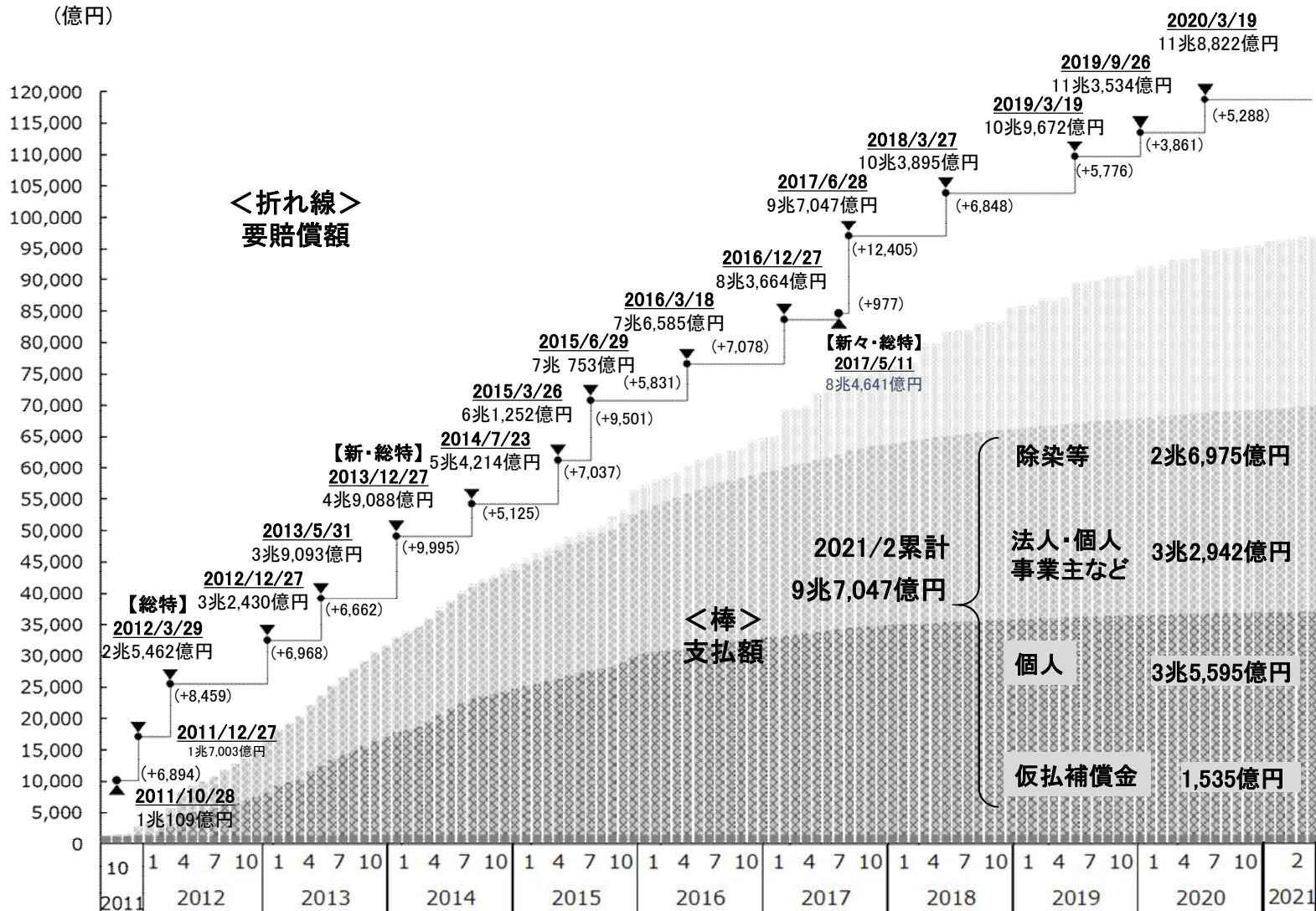
	個人 ※1	法人・個人 事業主など
ご請求について		
ご請求書受付件数(延べ件数)	約2,435,000件	約521,000件
本賠償の状況について		
本賠償の件数(延べ件数)	約2,300,000件	約446,000件
本賠償の金額 ※2	約3兆5,595億円	約5兆9,917億円
これまでのお支払い金額について		
本賠償の金額 ※2		約9兆5,512億円 ①
仮払補償金		約1,535億円 ②
お支払い総額		約9兆7,047億円 ①+②

※1 個人の自主的避難等に係る損害を含んでおります。

※2 仮払補償金から本賠償に充当された金額は含んでおりません。

＜賠償支払額及び要賠償額の推移＞

(億円)



＜賠償項目別の合意金額の状況＞

	要賠償額＜A＞ (2020年3月19日資金援助額変更申請)	合意いただけた実績※1＜B＞ (2021年2月末現在)
I. 個人の方に係る項目	20,713億円	19,987億円
検査費用等	3,424億円	2,780億円
精神的損害	10,967億円	10,896億円
自主的避難等	3,625億円	3,625億円
就労不能損害	2,695億円	2,685億円
II. 法人・個人事業主の方に係る項目	31,140億円	30,814億円
営業損害	5,390億円	5,392億円
出荷制限指示等による損害及び風評被害	18,477億円	18,631億円
一括賠償（営業損害、風評被害等）	3,234億円	2,576億円
間接損害等その他	4,038億円	4,213億円
III. 共通・その他	21,934億円	19,309億円
財物価値の喪失又は減少等	15,187億円	14,447億円
住居確保損害	6,497億円	4,611億円
福島県民健康管理基金	250億円	250億円
IV. 除染等※2	45,033億円	26,975億円
合計	118,822億円	97,087億円

※1 振込手続き中の方も含まれるため、これまでのお支払金額とは一致しません。 【B／A 82%】

※2 閣議決定及び放射性物質汚染対処特措法に基づくもの。

＜ご案内を開始している主な賠償項目＞

	個人	法人・個人事業主
2011年	8月：個人本賠償 〔精神的損害 ・就労不能等に伴う損害 ・検査費用 ・避難、帰宅、一時立入費用 ・生命、身体的損害 等〕	9月：法人本賠償 〔営業損害 ・出荷制限指示等による損害 ・風評被害 ・間接損害 等〕
2012年	2月：自動車に対する賠償 自主的避難等に係る損害に対する賠償 7月：建物の修復費用等に係る賠償	2月：自動車に対する賠償 12月：償却資産および棚卸資産の賠償
2013年	3月：宅地・建物・借地権等に係る賠償 、 家財の賠償 11月：田畑に係る賠償	3月：宅地・建物・借地権等に係る賠償 11月：田畑に係る賠償
2014年	1月：精神的損害(要介護者さま等への増額)に係る賠償 3月：移住を余儀なくされたことによる精神的損害に係る賠償 早期帰還に伴う追加的費用に係る賠償 避難指示解除後の相当期間に係る賠償 、 仏壇の賠償 4月：住居確保に係る費用の賠償 7月：墓石等の修理に係る賠償 9月：宅地・田畑以外の土地および立木に係る財物賠償 、 自主的除染に係る費用の賠償	9月：宅地・田畑以外の土地および立木に係る財物賠償 自主的除染に係る費用の賠償
2015年	2月：家財の個別賠償 3月：福島県の避難指示区域以外の地域における立木に係る財物賠償 4月：墓石等の移転に係る賠償 6月：避難指示解除準備区域・居住制限区域における精神的損害の追加賠償	3月：避難等対象区域内の農林漁業以外の事業者さまに対する仮払 福島県の避難指示区域以外の地域における立木に係る財物賠償 6月：新たな営業損害賠償等
2016年	2月：住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	12月：農林業者さまに対する2017年1月以降の営業損害賠償等
2017年	2月：住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	12月：平成30年以降の避難指示区域外の農林業における風評賠償
2018年	1月：移住を余儀なくされた区域における住居確保にかかる費用の賠償のお取り扱い 3月：2018年4月以降における個人さまの避難・帰宅等にかかる費用の賠償のお取り扱い	8月：2019年以降の避難指示区域外の農林業における風評被害について
2019年	2月：住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し 9月：消費税率引上げにともなう住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	

＜ADRの対応状況＞

		2021年2月25日現在
申立件数		26,644件
解決件数	全部和解件数	25,810件
	取下げ件数	20,641件
	打切り件数	2,924件
	却下	2,243件
	和解の仲介をしない	1件
現在進行中の件数		1件
		834件

※申立件数のうち、当社に送達がなされているのは26,459件(2月26日現在)、月平均で76件(2021年)

※現在進行中の件数のうち、12件は一部和解が成立している

※和解金額は約3,310億円

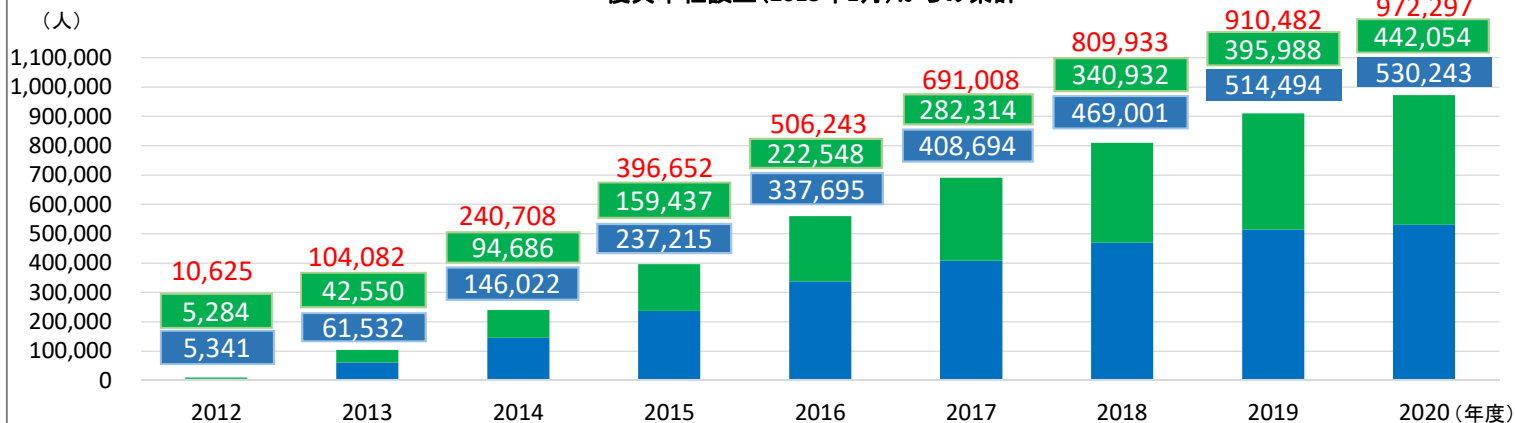
出典：原子力損害賠償紛争解決センターHPより

福島復興へ向けた取り組み

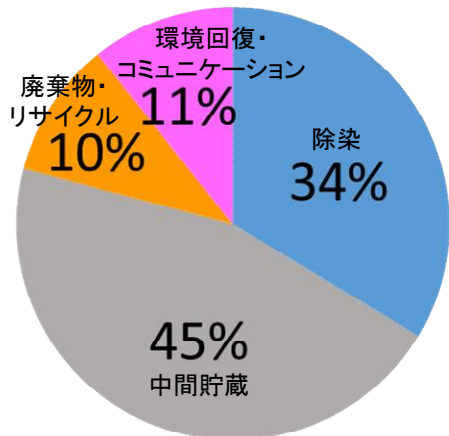
2021年2月の活動実績

除染等推進活動	3,718人
復興推進活動	969人
活動実績合計	4,687人

福島復興へ向けた活動実績 復興本社設立(2013年1月)からの累計



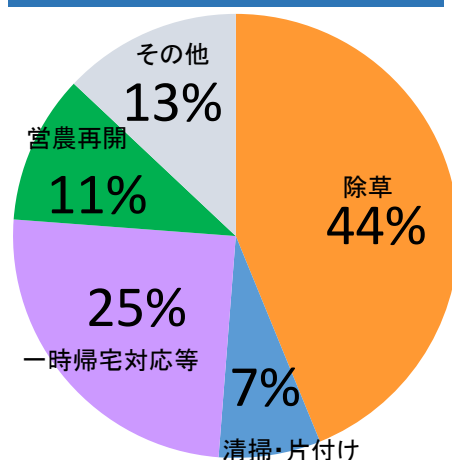
除染等推進活動の内訳 (2020年度)



<参考> 除染・復興活動の到達実績

- ・10万人到達…2014年9月12日(復興)
2015年5月7日(除染)
- ・20万人到達…2015年10月15日(復興)
2016年11月18日(除染)
- ・30万人到達…2016年11月3日(復興)
2018年7月17日(除染)
- ・40万人到達…2018年2月1日(復興)
2020年4月27日(除染)
- ・50万人到達…2019年11月6日(復興)

復興推進活動の内訳 (2020年度)

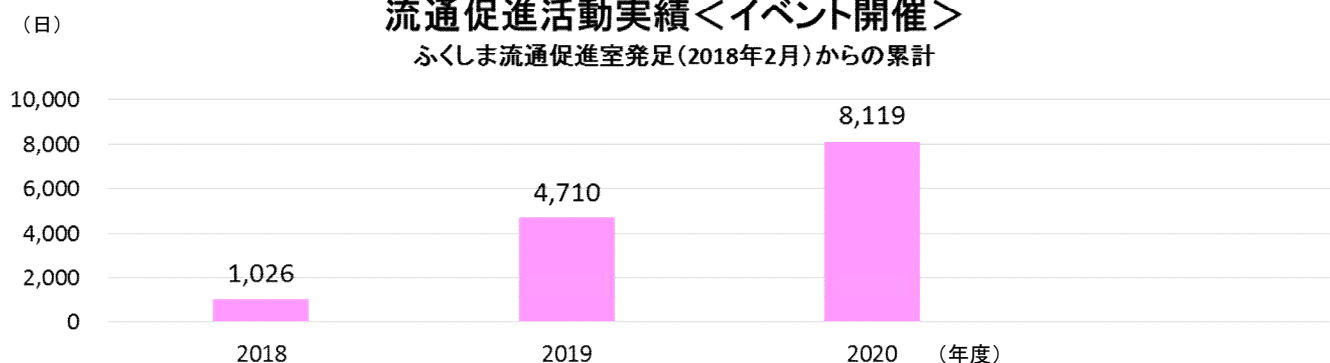


流通促進活動<イベント開催>

364日

流通促進活動実績<イベント開催>

ふくしま流通促進室発足(2018年2月)からの累計

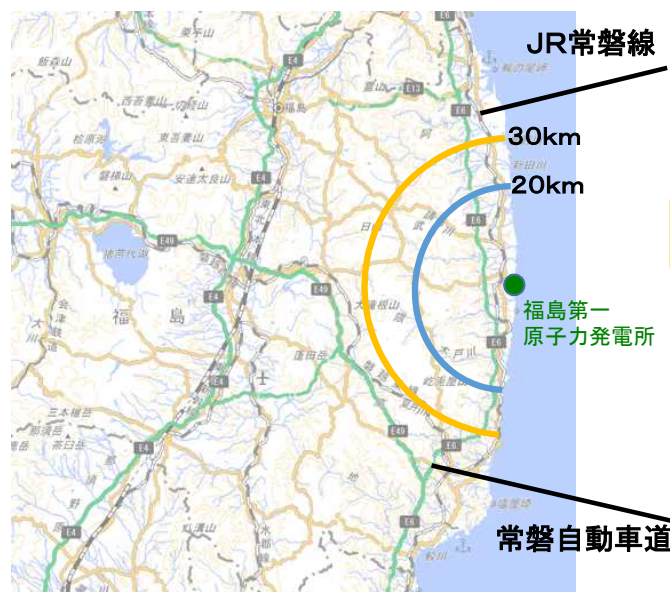


※イベント開催…試食販売会・飲食店フェア

福島復興へ向けた取り組み①

国の総合モニタリング計画への対応

実施時期	2011年8月～ 継続中
実施場所	避難指示区域全域（福島第一原子力発電所周辺地域）
実施人数	社員 延べ 3,100人（除染推進室1,700人・復興推進室1,400人／2021年2月末現在）
実施内容	➢ 福島第一原子力発電所事故により環境中に放出された大量の放射性物質について、きめ細かな放射線モニタリングを行うため、原子力災害対策本部に設置したモニタリング調整会議において、総合モニタリング計画を策定し、国・自治体・当社が連携して各種モニタリングを実施 ➢ 福島復興本社では、総合モニタリング計画の一部である福島第一原子力発電所周辺を中心とした陸域モニタリングを適宜実施中
実施結果	原子力規制委員会HP 放射線モニタリング情報の「モニタリング結果」参照 https://radioactivity.nsr.go.jp/ja/list/512/list-1.html



20km圏内



30km圏内



福島復興へ向けた取り組み②

立入規制緩和区域内(大熊町)のモニタリングへの対応

実施時期 2021年1月26日～2月26日(5日間)

実施場所 大熊町(下野上・熊地区の一部)

実施人数 社員 延べ15人

実施内容

- 環境省からの要請により大熊町の特定復興再生拠点区域(下野上・熊地区)の一部において、立入規制緩和に必要となるデータ(地表から1mと1cmの高さでの空間線量率)を歩行モニタリングにて測定を行った
- 2021年3月8日午前9時にバリケードの開放と立ち入り制限を示す看板が撤去され、今後の住民の帰還準備やインフラ整備の加速化が期待されている

経済産業省HP「大熊町の特定復興再生拠点区域内における立入規制の緩和区域の設定について」参照
<https://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/kinkyu/hinanshiji/2020/210301.html>



立入規制緩和区域内 歩行モニタリング

【撮影日：2021.2.8】



福島復興へ向けた取り組み③

地域の追悼祈念行事に関わる活動

取組内容

- 2020年3月に一部避難指示区域が解除された双葉町で、震災後初めて町内で開催された追悼祈念行事に関わらせていただいた
- 一般社団法人ふたばプロジェクトのご依頼による「追悼花火 in FUTABA」および福島県相双地域振興局からのご依頼による「東日本大震災追悼復興祈念行事2021」のお手伝いを実施
- また、双葉郡の各町村の追悼祈念行事にも携わらせていただいた

■ 双葉町内で開催された追悼祈念行事

- ・「追悼花火 in FUTABA」では、一般社団法人ふたばプロジェクトの職員の方々と一緒に追悼花火打ち上げ時の周囲の安全監視や翌日の燃え殻の後片付けを実施



「東日本大震災双葉町追悼式場」となった
双葉産業交流センターの様子



追悼花火打上時の安全監視



翌朝の花火の燃え殻片付け

「追悼花火 in FUTABA」

- ・「東日本大震災追悼復興祈念行事2021」では、一般のボランティアの方々と一緒に追悼キャンドルの設置や着火のお手伝いを実施



追悼キャンドルの設置



キャンドル着火



キャンドルナイトの様子

「東日本大震災追悼復興祈念行事2021」

■ 各地域の追悼行事のお手伝い

- ・双葉郡各地域の追悼行事の事前準備・会場設営・駐車場誘導等に関わらせていただいた



折り鶴の展示会場の設営

「大熊町東日本大震災
犠牲者合同追悼式2021」



竹灯籠の作成

「富あかり2021」



花火観覧席の設営

「3.11と葛尾村
～あれから10年、これから10年～」



駐車場誘導

「追悼花火」・「追悼集会」

福島復興へ向けた取り組み④

福島県産品の流通促進に向けた取り組み



主な福島県産品販売会(2月実績)

首都圏

■ マルエツ様4店舗で「和牛甲子園」出品牛を提供する福島牛販売会を初開催

- ・ 関東地方を活動拠点とする大型スーパーマーケットのマルエツ様において、今年1月の「和牛甲子園」※に出品された福島牛を提供する販売会を初開催
- ・ 福島県産品販売会の企画・プロモーション活動等に協力いただいている会社からの紹介で、マルエツ様に販売促進活動についてご相談し、4店舗での開催が実現
- ・ マルエツ様から「和牛甲子園」出品牛の取り扱いのご提案があり、福島県立会津農林高校の生徒が手塩にかけ育てた福島牛を販売いただくこととなった
- ・ 販売会では“高校生が育てた福島牛”に関心が寄せられ、同校を紹介するモニターの映像に足を止めて見入るお客さまもあり、「頑張ってるしいい」など農畜産業に携わる高校生を応援する声や「福島牛の販売を待っていた」などの声が寄せられた
- ・ 店舗関係者からは、「肉質が良い」、「満足のいく売れ行き」、「次回もぜひ開催したい」など福島牛を評価する声をいただいた

➤ 日時: 2021年2月1日

➤ 場所: マルエツ様4店舗(新粒谷店、鹿島田店、四季の森フォレオ店、朝霞店)

※ 和牛甲子園は、JA全農様が主催し「将来の担い手候補への支援」、「同じ志を持つ高校生同士のネットワーク創出」を目的に開催され、全国の高校で和牛を飼育している生徒たちが、日頃の和牛肥育の取り組みを発表し、その成果として枝肉の肉質を競い合う大会



マルエツ様
福島牛販売会の様子



会津農林高校を紹介する動画放映

■ クイーンズ伊勢丹様14店舗における「発見! ふくしま」フェア

- ・ クイーンズ伊勢丹様において、福島県産米、福島牛、常磐もの水産物、地酒、加工品など福島県産品を幅広く揃えた「発見! ふくしま」フェアを開催
- ・ 本フェアでは、初めて「福島牛の牛めし弁当」を販売し、600食を超える食数を提供して好評を博したほか、昨年を上回る好調な売り上げとなった
- ・ 来店されたお客さまからは、「美味しそうだったので家で試してみたい」、「福島を応援したい」などの声をいただいた

➤ 日時: 2021年2月18日~21日

➤ 場所: クイーンズ伊勢丹様の東京・千葉・埼玉・神奈川の14店舗



クイーンズ伊勢丹様
「発見! ふくしま」フェアの様子



クイーンズ伊勢丹様
「福島牛の牛めし弁当」の販売

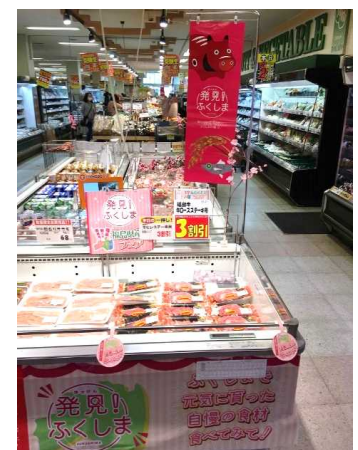
福島県

■ スーパーマート様いわき地区23店舗における福島県産品フェア

- ・ スーパーマート様が開催する福島県産品フェアは、「身近で販売してほしい」との消費者様の声などを受けて福島県内の販売会を開始した昨年、既に5回目と好評を博している
- ・ 本フェアでは、新たに福島牛が加わったほか、福島県産米、常磐もの水産物、青果、加工品などを販売
- ・ 店舗関係者からは、「次回以降も福島牛の販売を検討したい」、「今後も継続的にフェアを開催したい」などの声をいただいた

➤ 日時: 2021年2月18日~21日

➤ 場所: スーパーマート様いわき地区23店舗



スーパーマート様
福島県産品フェアの様子